

避難生活における高齢者の活動と休息
～時期に応じた支援を考えよう～

日時：2026年1月31日（土）

13：30～16：30

オンライン
開催

プログラム

1. 講演

■「被災高齢者の日常生活を制限する要因と看護」

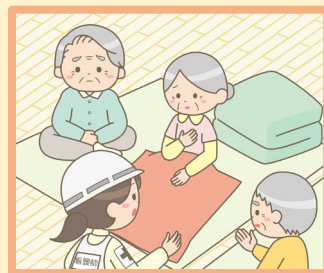
福井赤十字病院

災害看護専門看護師 朝田 和枝 氏

■「被災高齢者の不眠が及ぼす影響と看護」

永平寺町防災安全課

災害看護専門看護師 花房八智代 氏



【講演の主旨】 災害時には、家屋の倒壊や避難生活によって、日常生活すべてが制限され、食事・排泄・清潔・活動の低下からくる生活不活発病などを予防する看護が重要となります。中でも災害時の不眠は高齢者にとって重要な問題で、質の良い睡眠を提供し、生きる意欲を持ってもらう援助が重要です。高齢の被災者に対する避難所・仮設住宅などの場と時期に応じた看護について考えます。

2. ディスカッション

3. 質疑応答

申し込みは
▼こちらから▼

対 象

看護職（定員70名）

参加費

会員3,000円 非会員4,000円

申し込み方法



1月5日(月)までに、右記QRコードから申し込みください。
参加者には、後日ZoomのIDとPWをメールでご連絡いたします。

【問い合わせ先】一般社団法人日本老年看護学会事務センター
TEL:03-5206-7431 FAX:03-5206-7757
E-mail:office@rounenkango.com